



淀川テクニック「宇野のチヌ」 Photo: Kimito Takahashi

暗く先行きの見えない時代だからこそ、未来への希望、新しい社会や文明の可能性を受験生のみなさんとともに考えたいと思う。それも、ヴィジョンだけでなく、具体的な実践の姿を通して。北川さんは3年に1度の「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」を2000年にスタートし、今や世界最大級の屋外型の国際芸術祭に育て上げ、さらにそれと並行して、瀬戸内芸術祭を成功させ、今年は北アルプス、奥能登へと活動の場を広げている。過疎化・高齢化が進む地域で、

アートによる地域の創生

その土地の自然や伝統文化や人々の暮らしを基盤に、そこに現代アートを融合させ、まったく新しい地域再生のモデルをつくりだしたのである。世界が注目するアート

ディレクターの北川さんに、こうした活動をなぜ始めたのか、どうして前例のない

試みが成功し、これから何を創ろうとしているのかを語っていただくことは、君たちが希望の未来を構想する力と意志を育む一助となるにちがいない。(小論文講師—山田誠司)

- 講演：北川 フラム (アートディレクター)
- 司会：山田 誠司 (小論文講師)



Photo: Junya Ikeda

プロフィール：北川フラム

1946年新潟県高田市(現上越市)生まれ。東京芸術大学卒業。アートフロントギャラリー代表。主なプロデュースとして「アントニオ・ガウディ展」、「子どものための版画展」、「アパルトヘイト否(ノン)! 国際美術展」など。「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」「瀬戸内国際芸術祭」、今年開催される「北アルプス国際芸術祭」「奥能登国際芸術祭」の総合ディレクターを務める。主な受賞・受章に、芸術選奨文部科学大臣賞、国際交流奨励賞・文化芸術交流賞、フランス芸術文化勲章シュヴァリエ、オーストラリア名誉勲章・オフィサー、紫綬褒章等。主な著書に『ひらく美術：地域と人間のつながりを取り戻す』(ちくま新書)、『美術は地域をひらく：大地の芸術祭10の思想』(現代企画室)など。



イリア&エミリア・カバコフ『綱田』 Photo: ANZAI

6月12日(月) 17:30~19:00

池袋校 西校舎 5B教室

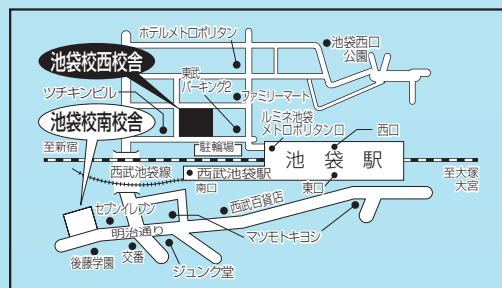


入場無料
申込不要

〒171-0021 豊島区西池袋 1-3-12

☎ 0120-198-630

●JR-西武池袋線・東武東上線・東京メトロ丸の内線・有楽町線・副都心線池袋駅メトロポリタン口より徒歩1分



※どなたでも自由に参加できます。